重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	市のいたるところに緑があり、自然と調和した景観がある	
施策名	緑が豊かで自然と調和した景観のあるまちをつくる	No.24

年度	平成27年度
責任部長	建設部まちづくり担当部長
主担当課長	公園緑地課長
関係課	農業振興課、まちづくり課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
一宮市は緑が多いと思う人の割合（%）	↗	49.6	53.1	57.0	56.7	55.6	59.1	56.7
		59.1	59.1	58.5	58.6			62.9
身近に気に入っている自然を感じる場所がある人の割合（%）	↗	50.1	56.5	59.3	59.5	60.5	58.6	58.4
		58.6	59.4	59.8	61.4			64.6
市街化区域の都市公園面積（ha） 【※市内の市街化区域面積　3,802ha】	↗	－	－	－	－	－	－	－
		55.59 (1.46%)	55.86 (1.47%)	56.31 (1.48%)	57.12 (1.50%)			56.47 (1.49%)

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

地球温暖化等のため地球環境への関心が高まっており、緑や自然のあり方について注目されている中、個人・家庭では、ガーデニング、家庭菜園等、緑に関する取り組みに関心が高まり、町内会・ボランティア団体・民間企業等では、緑化ボランティア等の活動が注目され増加しており、自然環境に対する関心が高まっている。また学校では花壇の制作や植樹祭への参加、ビオトープの観察等、環境学習の場が増えている。さらには国・県による緑化に対する新たな施策等が増えている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	アンケートによる「まちづくり指標」の実績値も概ね評価を得ており、また「市街化区域の都市公園面積」についても、計画的に整備が進められ本施策の目的は達成されつつある。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊

総合計画推進市民会議による現状評価（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

評価	B 停滞	指標1と指標2は目標値が未達となる可能性が高いことを重視する。指標3は目標値を達成しているが、地域差が大きいからか、感覚として自然と調和した景観は少ない。